

## 2015(平成27)年度事業報告

	事業名/決算額(円)	事業内容
学 び の 場 の 提 供	人権ライブラリー (閲覧室運営) 494,572	人権に関する図書・ビデオ・資料等を整備し、閲覧や貸出を行った。 (3月末整備状況： 図書5,249冊、ビデオ472本)
	人権を考える公開講座 608,056	県民を対象としセミナーやワークショップを開催した。 ○セミナー(5回) 『いつもこころにマウンテン～いじめる力を自分の愛へ～』 講師：登天 ポールさん ①8/1 和歌山会場 (22人参加) ②8/2 田辺会場 (39人参加) 『ダウン症の娘はフラガール』 講師：鈴木 寿美さん ③3/1 海草郡紀美野町 (213人参加) 対談型セミナー 『いじめ・ほんとは「カンケイナイ」?』 講師：中本 久美さん、米澤 好史さん ④12/12 橋本市産業文化会館アザレア (17人参加) ⑤12/13 和歌山ビッグ愛 (14人参加) ○ワークショップ(2回) 『世界は違いでできているー多様性を考えるー』 ファシリテーター：富岡 美知子さん ①1/24 田辺市総合センター (17人参加) ②1/31 和歌山ビッグ愛 (27人参加)
	人権感覚を育てよう 978,980	幼児向け啓発プログラム『みんな、たいせつ』(平成22年度開発)の講師養成のほか、幼稚園・保育所等でのプログラム実践、啓発手法周知のワークショップを開催した。 ○講師養成セミナー(3回) ①6/30 湯浅町 (26人) ②7/ 2 田辺市 (31人) ③2/ 3 和歌山市 (17人) ○参加型講座/親子向けワークショップ(2回) ①9/5 橋本市 (12人) ②9/6 串本町 (27人) ○プログラム出張講座(15ヶ所) *応募33ヶ所から抽選対象3~5歳児(延べ760人受講) ①9/16和歌山市新庄幼稚園 ②10/14和歌山市今福保育所 ③10/21岩出市おひさま保育園 ④10/24美浜町こじか保育園 ⑤10/26和歌山市城北保育所 ⑥10/28有田川町金屋第三保育所 ⑦10/29湯浅町田保育所 ⑧10/29有田川町御霊保育所 ⑨12/1有田市箕島保育所 ⑩12/1湯浅町武者越保育所 ⑪12/2かつらぎ町聖心幼稚園 ⑫12/3海南市亀川幼稚園 ⑬1/18和歌山市山口保育園 ⑭1/19紀美野町きみのこども園 ⑮2/10有田川町藤並保育所
	人権を大切にすることを 育てる保育研修 192,000	保育士、幼稚園教諭を対象に「子どもの人権を大切にすることを考える研修会」を開催した。(2回) ○(午前)：講演『心をつなぐコミュニケーション』 講師：米澤 好史さん(和歌山大学教授) (午後)：ワークショップ『からだから学ぶ発信と受信』 講師：岩橋 由莉さん(表現教育家) ① 11/24 紀南会場・田辺市 (34人参加) ② 11/30 紀北会場・岩出市 (32人参加)

<p>人権啓発支援事業 294,687</p>	<p>中小企業の経営者及び研修担当者を対象に、公平・公正に働くことのできる職場づくりを支援するための講座を開催した。 ○『企業と人権～人権って、私や仕事に関係あるの?～』 講師：大西 英雄さん (元大阪同和・人権問題企業連絡会理事長) 8/7 新宮市 (72人参加)</p>	
<p>人権研修への講師派遣 360,460</p>	<p>「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」締結団体から、県への人権研修講師派遣依頼に基づき、センター登録講師等を派遣した。 (33回派遣、対象2,000人)</p>	
<p>講師派遣 65,200</p>	<p>市町村・企業・団体からの要望を受けて、センター職員を人権研修等の講師として派遣した。 (派遣実績 57回)</p>	
<p>考えるきっかけと素材の提供</p>	<p>人権ギャラリー (研修室運営) 213,056</p>	<p>NP0団体等への人権に関する作品展示スペース及び研修室として貸出を行うとともに、市町村・企業等にパネル貸出を行った。 ○障がい者市民の夏祭り作品展 7/22～ 8/17 (来場者97人)</p>
	<p>ポスター・人権の詩募集 1,600,415</p>	<p>○人権に関するポスターを募集、優秀作品を表彰し、展示した。最優秀作品(小・中・高校各1点)を「人権を考える強調月間、同和運動推進月間」ポスターとし、特別賞作品をいじめ防止啓発ポスター、電車・バスの車内刷り広告として作製した。 (応募総数5,091点) 月間ポスター：1,500枚 いじめ防止ポスター：2,000枚 いじめ防止/電車中吊り：300枚 いじめ防止/バス中吊り：20枚 電車：JR紀勢線(新宮～紀伊田辺、紀伊田辺～御坊) JR和歌山線(和歌山～桜井) 和歌山電鉄貴志川線(和歌山～貴志) 2/3～3/1 和歌山バス：和歌山市内各路線 1/20～2/19 ○日常生活の身近な人権をテーマに「人権の詩(こころのうた)」を募集、優秀作品を人権フェスタにおいて表彰し、展示した。 (応募総数2,961点)</p>
	<p>ふれあい人権フェスタ 2015 8,514,033</p>	<p>NP0をはじめ各種人権関係団体等と協働し、楽しい雰囲気の中で人権を考え多様な体験が出来るフェステイバルを開催した。「りいぶるフェスタ」、「わかやまこころのフェスタ」と同時開催し、効果的な啓発を実施した。 ○11/14(和歌山ビッグホール) 出展数：173団体 来場者数：6,200人 内容：ブース展示、パネル展示、ステージイベント、人権啓発資料展、ワークショップ、模擬店、各種体験コーナー</p>
	<p>人権を考える強調月間 ・同和運動推進月間 494,240</p>	<p>「同和運動推進月間」(11/1～11/30)及び「人権を考える強調月間」(11/11～12/10)に集中的な啓発活動を展開した。 ○街頭啓発(11/11) JR和歌山駅 ○人権ポスター作成(1,500枚)・配布等 ○同和運動推進月間特別講演会(11/5) 『何が進み、何が残っているのか～同和対策審議会答申50年の成果と課題～』 講師：馬場 周一郎さん (ジャーナリスト、福岡県同和人権問題講師団講師) 場所：和歌山県勤労福祉会館プラザホープ(234人参加)</p>

	啓発資料の作成 1,161,220	啓発冊子や資料等を作成し、人権研修会等に活用いただいた。 ○『みんなでつながるインターネットと人権』9,000部 ○『ココロとココロ（職場編）』*増刷10,000部 ○『4コマ劇場ーフィクションだけどありがちな風景ー』増刷10,000部
情報の収集と提供	センター自主事業 (情報誌等作成) 1,795,826	人権関連活動の取材記事等を掲載したセンターだより『E.L.F.(エルフ)』及びセンター事業報告書『あゆみ(27年度版)』を作成した。 ○『E.L.F.』4回(各8,000部)、A4/12頁、全頁ルビ・音声コード付き ○『あゆみ』(500部)、A4/44頁(500部)
	ホームページ運営 1,801,440	ホームページの全面リニューアルを行った。 人権に関する情報提供やセンター事業広報のため、ホームページを運営し情報発信を行った。 人権ライブラリーの書籍やビデオ等、資料検索機能を充実した。
	講師バンク	センター設置の人権課題ごとに登録された講師バンクへの登録講師の充実を図り、市町村や事業所、各種団体等の要望により人権研修等の講師を紹介した。また、ホームページのリニューアルに併せて、各講師の登録内容の更新等を行った。 (登録講師数：34人、紹介回数26回)
人権相談	人権相談 3,102,000	人権電話相談「人権ホットライン」や来所による相談に対し、問題解決の視点から助言等を行った。 また、弁護士による法律相談を実施した。 ○電話相談 119件 面接相談 18件 メール・FAX等 3件 ○法律相談 19件 計 159件
センター運営	8,038,579	センター維持管理経費として、以下の経費を支払った。 事務室使用料、共益費、光熱費、公用車管理費、理事会・評議員会開催経費等
人件費	51,757,206	公益目的事業・センター運営に係る職員の人件費等を支払った。 (常勤8人、非常勤1人) 職員退職にかかる準備として積立を行った。
	計 81,471,970	